

農協と組合員をつなぐ広報誌

なつゆんぱ



目次

第46回中春別農協通常総会 2~3
総会組合長挨拶……………4~5
西川寛稔組合長退任挨拶……………6
望月英彦組合長就任挨拶……………7
営農対策情報……………8
組織機構図、職員配置図……………9
ホルスタインコンテスト…10~11
年金友の会・MFTの侵入を防ごう 12
金融共済課からのお知らせ…………13
新職員の紹介……………14~15

農業者年金のお知らせ……………16
別海高校活動報告……………17
牛乳を使った料理の紹介……………18
JAグループ通信……………19
生乳課情報……………20
乳質乳価……………21
理事会の動き……………22
インフォメーション……………23
組合員の広場……………24



JA中春別

7月号

2020 Vol. 510

事業計画を上回る成果を達成

第46回 中春別農業協同組合通常総会



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での開催となりました。
 第46回中春別農業協同組合通常総会が6月4日(木)、農業者団地センターで開催されました。

総会に先立ち、優良組合員表彰者、乳質改善・良質乳生産組合員表彰者、経営移譲感謝状授与者が紹介された後、西川組合長から挨拶（別記参照）がありました。

総会の成立については、正組合員数258人中、本人出席11人、書面出席230人、計241人が参加され、議長には豊原地区の上田泰治氏、中春別地区の村山英司氏が指名され議事に入りました。



議案第1号「令和元年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について」、関連があるため議案第2号「令和2年度事業計画の設定について」、議案第3号「賦課金の賦課及び徴収方法について」が一括で上程されました。

続いて、議案第4号「定款の一部変更について」、議案第5号「信用事業規程の一部変更について」、議案第6号「役員報酬の支給について」、議案第7号「役員報酬審議委員会委員の選任について」、報告事項1「労働保険事務組合の令和元年度徴収納付状況の報告について」、第1号議案から第7号議案、



第46回 中春別農業協同組合通常総会

報告事項それぞれ大山専務より説明され、原案通り承認されました。



報告事項を説明する大山専務

組合員、農協役職員一同全力を挙げ 安全・安定供給に努めて行こう

閉会にあたり、望月副組合長より「事業計画を上回る成果を達成することができました。これもひとえに組合員と家族の皆様のご尽力の賜物であり、感謝申し上げます。昨年まで好景気が我々の世界で続いておりましたが、新型コロナウイルスの影響から物流や輸出

が止まり、マスクひとつにしても国外に頼っていたという現状を目の当たりにした時に、我々は食料を国民に安全・安定供給するという使命感を改めて実感しました。協同組合の精神のもと、組合員一同が集い、農協役職員一同も共に全力を挙げ、生産・処理・販売、

トライアングルの中で、安定供給に努めていくことが重要である」と述べられ、閉会いたしました。



閉会の挨拶を述べる望月副組合長

令和2年度表彰者
○優良組合員表彰者
大内 昌美（中春別地区）

○乳質改善・良質乳生産組合員表彰者
細川 優作（豊原地区）

○経営移譲感謝状授与者
尾形 春喜（美原地区）
中山 勝志（中春別地区）

新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、6月5日(金)にご自宅で表彰、授与を行いました。



優良組合員表彰を受ける大内昌美さん



乳質改善・良質乳生産組合員表彰を受ける細川優作さん



経営移譲感謝状授与を受ける尾形春喜さん



経営移譲感謝状授与を受ける中山勝志さん

西川組合長より総会の挨拶

生乳生産量12万6400トン、 前年比103.18%と過去最高の実績

新型コロナウイルスの早期収束を願って

本日ここに、第46回通常総会の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

本来であれば本総会に、行政、並びに系統連合会を始め、各関係機関のご臨席と多数の組合員のご出席を賜っておりますが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、総会運営において、ご来賓のご臨席をご遠慮いただき、組合員のご出席についても議決権行使書面を中心とした開催とさせて頂いた事にご理解を願います。

また、本総会に向けては、組合員懇談会を開催しご意見を頂きながら、開会を迎えたいところではございましたが、農事組合長会議にて協議を行った結果、感染拡大防止の観点から懇



談会についても開催を中止とさせて頂きました。

そうした中、本総会に向け沢山の準備をして頂いた役員の皆様、職員の皆様の協力に感謝申し上げます。

さて、国内の近況であります。我が国の経済は、設備投資、輸出増が堅調に推移し外需主導の背景で、雇用、所得環境の改善や、個人消費が底堅く推移したことから、穏やかな景気回

復基調が継続しておりますが、新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大し、国内でも緊急事態宣言が発令されるなど、かつて経験のないあらゆる方面に甚大な影響がでており、感染拡大が早期に収束することを願うものであり

「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域」の実現

国際貿易は、TPP11、日EU、EPA、に続き日米貿易協定が発効され、日本農業はより一層の自由化時代に入り、国内農業に与える影響が一段と不安視され、農畜産物への影響が増すようであれば、食料安全保障の観点からも強い対策

を、北海道一丸となり求めて行かなければなりません。

こうした中、JA北海道大会で決議した「農業所得増大」「新規担い手の倍増」など、実践による自己改革を加速、拡充することとなっており、昨年度決議頂きました「着実な実践を通じた自己改革の取り組み」の「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域」の実現を目指して事業を進めてまいります。

昨年は農協改革集中推進期間の最終年度でありましたが、信用事業環境はマイナス金利の長期化、内部統制の厳格化による組織体制整備によるコスト増など、非常に厳しい情勢が続いております。

後ほど事業計画の中で説明いたしますが、生乳集荷料金の引き上げなど一部料金改定をご提案させて頂いておりますが、働き方改革に対応して、しっかりと人員を確保した中、万全の集荷体制を維持する目的と、健全なJA運営のためとご理解を頂きたく、お願い申

しあげます。

国内対策と、生産基盤強化に対する予算を確保

本年度の酪農、畜産政策、価格対策は、新たな加工原料乳生産者補給金制度の中、補給金、集送乳調整金合わせて5銭引き上げの10円85銭となり、交付対象数量は、5万トン増の345万トンで決定されております。

関連対策では、畜産クラスター関連事業、国産チーズ競争力強化対策など、引き続き予算措置がされ、更には、中小酪農経営の強化に向けA L I C事業予算が拡充し、国際貿易に対応する国内対策と、生産基盤強化に対する予算が確保された内容となりました。

用途別原料乳価は、全用途据置となり前年並み乳価の確保となりましたが、新型コロナウイルスによる学乳休止や外食需要の激減により、需給環境が緩和し、脱脂粉乳並びに業務用バター、今後の需給動向やプー

ル乳価への影響が心配される事態となっており、政府は用途変更への価格対策や需要拡大対策の予算措置、乳業メーカーのフル稼働など、官民一体で生産意欲が失われないよう対策を講じて頂いておりません。

令和2年度生産意向数量は、12万7900トン

昨年度においても周期的に変動する気象条件のもと台風15号、19号で記録的集中豪雨が発生し、関東、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。

当地区におきましては、比較的天候に恵まれ1番草、2番草の収穫作業を順調に終える事ができ、平年以上の収量と品質が保たれ、生乳生産に期待が持てる結果となりました。

この様な環境の下、令和元年度の当地区内の生乳生産量は、12万6400トン、前年比103・18%と過去最高の実績となりました。

搾乳戸数の減少や、予期

せぬ自然災害による被災の中、生産現場において、組合員の皆様を始め、ご家族が一丸となつて生乳生産に取り組まれた日々のご努力に対し、心から敬意を表すと共に感謝申し上げる次第でございます。

「生乳生産基盤、安定供給強化対策」は、全道一律の目標伸び率103%を基本としながら、各農協の生産意向数量を生産目標数量として位置づけられています。

令和2年度当農協の生産意向数量は、12万7900トンとなっております。当農協もできうる範囲で引き続き諸対策を講じてまいりますので、目標数量に近づけるべく達成を切願いたします。

当地区内には、3本の河川が位置しており、将来に亘り漁業との共存共栄ができる地域社会を作る事が必要であります。環境保全型、循環農業の推進に当たっては、組合員戸々の施設環境を確立する必要があり、本年度においても、国営環境保全型かんがい排水

事業も進められております。

加えて、別海バイオガス事業の利用をしながら、施設整備の補完として活用されますよう、引き続きお願い申し上げます。

令和元年度のJAの事業



成果につきましては、生乳、個体を合わせた総販売高が166億6千万円、過去最高の実績を挙げ、購買事業供給高も57億2千万円と、過去2番目の実績を挙げる事が出来ました。

これもひとえに組合員とご家族皆様の日々のたゆまぬ努力と、JA事業へのご理解とご利用の賜と、深く感謝する次第であります。後ほど、議案の中で説明を致しますが、剰余金処分については、盤石で強固な財務基盤構築のため、引き続き内部留保に向けて共に、昨年並みの出資配当をご提案させて頂きます。

担い手確保、育成、支援のため「㈱なかしゅんべつ未来牧場」は、研修機能を持つ生産施設として稼働しており、担い手確保及び就農に向けた人材育成や地域労働力確保、並びに労働力補完のため農協とも密に連携を取りながら、地域を担う人材の育成確保に取り組んでまいります。

JA経営の健全化と財務基盤の強化

平成28年度から令和3年度を目標とした地域農業振興計画と、令和3年度を目標とした第11次中期経営計画「未来ある地域づくり活動の実践」を推進してまいりました。

第11次中期計画は2年目となりませんが、各種事業の検証を行いながら、地域農業振興計画と第11次中期経営計画の着実な実践とJA経営の健全化と財務基盤の強化に努めてまいります。

中春別地域畜産クラスター協議会をはじめとする、各関係機関との連携により、地域目標の共有と地域全体の取り組みにより、生産基盤の拡大と生産性向上を図り、収益力向上に向け農協事業を展開してまいりますので、組合員の皆様におかれましてはご指導をはじめ、ご理解とご協力ご利用を改めてお願い申し上げます。

結びになりますが、行政を始め系統連合会、並びに各関係機関に対しまして、今後ともより一層のご指導とご支援を心からお願いを申し上げます。本総会開会にあたっての挨拶とさせていただきます。



代表理事組合長退任にあたって

会長理事・ホクレン副会長就任

酪農畜産に根釧の 現場の思いを反映させたい

中春別農業協同組合 会長理事 西川 寛 稔

組合長退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

6月4日に中春別農協第46回通常総会を終えたばかりで、私も組合長就任2年目のスタートを切った矢先の急なホクレン副会長就任ということで、組合員の皆様をはじめ役員の方々は、ご心配とご迷惑をお掛けすることをお詫び申し上げます。

私は、13年前に初めて農協役員を務めさせていただき以来、監事1期、理事3期、そして昨年組合長の職を拝命いたしました2年目に入り少しずつ自分のカラーを出して行こうと考えていたところですが、まだ何かやり残した事があると言うよりも、何もなす前に退任する事になり、私自身大変残念な気持ちで申し訳なく思っております。

この度の事態に向き合
い、北海道の酪農畜産に根

釧の現場の思いを反映するために、また、先人の皆様
が苦勞して築き守ってきたものを引き継ぎ、後世につなぐために判断させていただきました。

私自身は、知識も経験も浅くどれだけ貢献できるものか自信ありませんが、ご推薦をいただきました大勢の皆様のご期待に応えるべく精進してまいります。

今後は、中春別農協の常勤では無くなりますが、会長理事として微力ながらお手伝いをさせていただきます、地域発展のため努力して参りたいと思っておりますので、これまでと変わらぬ一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、これからも中春別地域をはじめ組合員、役員、各関係機関の皆様のご健勝とご隆盛をご祈念申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。





代表理事組合長就任にあたって

地域に開かれた農協として、 地域の核になるよう目指します

中春別農業協同組合 代表理事組合長 望月 英彦

組合員の皆様、1番草収獲時期の真最中であつて、かつてない悪天候に見舞われ、大変ご苦労されていることと存じます。組合長就任にあたり一言挨拶をさせていただきます。

去る6月12日、全道にホクレン副会長候補が資格喪失との報道が流れました。道内系統組織に激震が走った訳ですが、早速、全道・根釧の組合長会で話し合いが行われたところ、全道生乳生産量の3分の1を有する根釧から候補者を出すべきとなり、わずか6日間で当JAの西川組合長がホクレン副会長候補に決定したしだいでございます。

当JAにとっては、まさに青天の霹靂であり、新型コロナウイルス以上の非常事態でありました。候補決定の翌18日夜に緊急組合員説明会を開催、23日のホクレン通常総会・理事会での副会長就任を経て、29日に当JA理事会を開催し、新体制を決定したところ、不肖、私が代表理事組合長に就任するしだいとなりまし

た。浅学非才の私ではあります。が、よろしくお願い申し上げます。

さて、当JAは、昭和初期より拓殖計画で入植が始まり、根釧パイロットファーム、新酪農村事業を経て、一大酪農生産地として成し遂げてきました。先人達は、不毛の根釧台地を乳牛という動物の力を借り、肥沃な大地をつくり上げ、草1本から動物性蛋白質に換える乳牛で、将来に向け安定的な食料の供給基地を築いて来ました。この先人達に築き上げていただいた大地は、全道・全国の国民に食料を安定供給する使命を持っていると自負するところでもあります。

新型コロナウイルスの世界的な流行の中、代々酪農畜産農家は、常にウイルスとの戦いでありました。BSE、口蹄疫、鳥インフルエンザ、CSF（豚熱）などの中、対策を強化し時代に打ち勝ってきた実績のある職業であります。マスク1つ取りましても他国に依存しているように、輸出規制

や物流が止まると、すぐに国民の食料が枯渇する恐れがある中、安定供給と国内自給率の向上はもとより、国内の流通対策、保管対策などをしっかりと、生産者・メーカー・消費者が一体となつて考えていかなければなりません。

JA内の今後の課題は、総会で提案させていただいております。来年度に向けた材料料率の見直しでありますが、費用対効果の検証を行い、組合員にご理解いただけるよう努力してまいります。また、店舗、給油所、

金融は生活を守る大事な使命があり、JAは経済団体でありますが、第2の自治体でもあると考えております。「ゆりかごから墓場まで」の言葉どおり、地域に開かれたJAとして、地域の核となるよう役員一同目指してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、西川前組合長におかれましては、お体に気を付け生産者の心を忘れずに、道内はも

とより全国に向けて食料の安定供給と、北海道農民が心豊かに暮らしていただけるよう農政運動に尽力いただきたいと思っております。

新型コロナウイルスの流行で、今後の経済動向は計り知れないものがあります。が、こんな時こそ協同組合の力を結集して、組合員皆様と乗り越えて行く所存でございます。ですので、組合員皆様温かいご支援と強いご指摘をお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが就任の挨拶といたします。



酪農経営における 和牛のほ育管理

近年、酪農経営での雌雄判別精液の活用により、計画的な交配が可能となりました。それに伴い取引価格の高い黒毛和種(以下和牛)の精液や受精卵の利用が増加するなど、酪農経営における和牛の生産

頭数が増えてきています。しかし、和牛子牛の事故率なども増加傾向にあります。今回は酪農経営における和牛の事故を減らすためのポイントについて考えてみます。

1. 和牛の子牛は弱い!!

表1に和牛と乳牛の子牛の主な違いを示しました。

同じ飼養環境下の場合、乳牛の子牛では耐えられても、和牛の子牛は耐えられないことがあります。また、午前中元気があっても、午後にはぐったりしていることもあり、こまめな観察、徹底した衛生管理と温度管理(特に冬期間)が重要になります。

表1 和牛と乳牛の比較

区 分	和牛の子牛		乳牛の子牛	
	雌	去勢	雌	去勢
生時体重 (kg)	30.0	33.0	43.0	50.0
ほ育期間 (日)	90	90	42	35
特 徴	(乳牛と比べて) ・小さい ・病気や寒冷に弱い ・下痢をしやすい			

(北海道農業技術体系より引用)

2. 子牛の免疫力を高めるために

黒毛和種の初乳は乳牛(ホルスタイン種)と比べ、免疫グロブリン(IgG1)濃度が高く、子牛の免疫獲得に与える効果が高いです(表2)。初乳は母牛から得られたものが好ましいですが、自然ほ乳で母牛からのほ乳量が少ない場合、良質なホルスタイン種の冷凍初乳や初乳製剤を追加給与します。また、母牛が育児

放棄して初乳を飲ませることが出来ない時や、ET産子で人工ほ乳を行う場合、ホルスタイン母牛の良質な初乳や初乳製剤を分娩後6時間以内に給与しましょう。飲みが悪い場合は無理矢理飲ませず、遅くとも分娩後12時間以内に数回に分け、しっかり免疫移行を促しましょう。

表2 黒毛和種とホルスタイン種の初乳成分の比較

	黒毛和種	ホルスタイン種
乳 量 (kg)	1.3 ± 0.7	9.9 ± 4.5
乳 脂 肪 (%)	5.1 ± 2.4	6.2 ± 2.4
タンパク質 (%)	16.7 ± 2.0	13.7 ± 2.4
IgG1 (mg/ml)	160.1 ± 52.2	73.1 ± 27.9
乳 糖 (%)	2.0 ± 0.5	2.4 ± 0.7

(道総研畜産試験場 2005年)

また、分娩予定日の半月前(初産牛や初めての牛には分娩予定日の1カ半月前と半月前の2回)、母牛に下痢5種ワクチン(不活化)を接種したり、栄養を充足(特にタンパク質)させることで、免疫を効果的に移



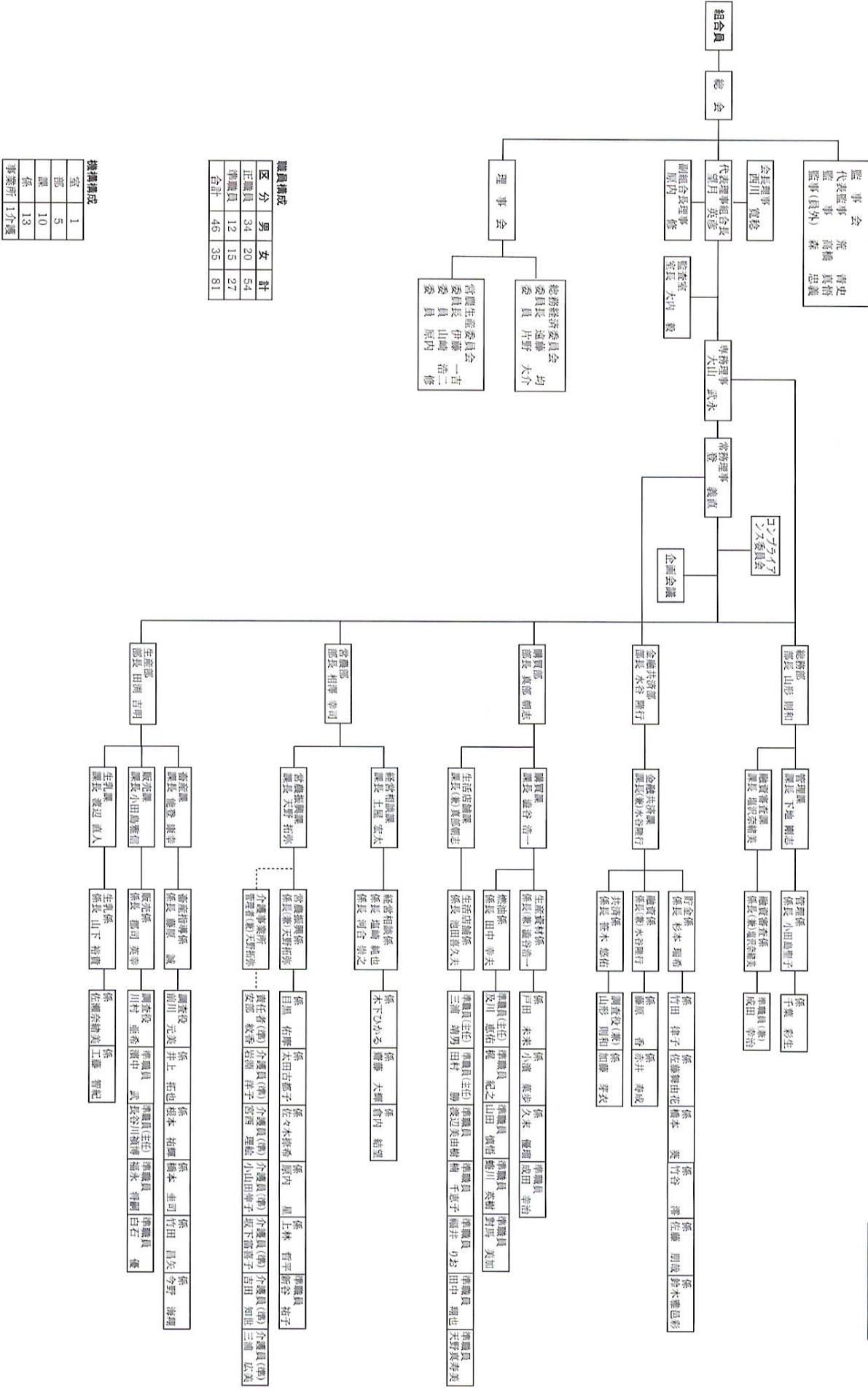
写真1 十分な哺乳を行いましょ!

行させることができ、病気にかかりにくい丈夫な子牛を生産することが期待できます。



JA中春別 組織機構図と職員配置図

令和2年7月1日現在



職員構成

区分	男	女	計
正職員	34	20	54
準職員	12	15	27
合計	46	35	81

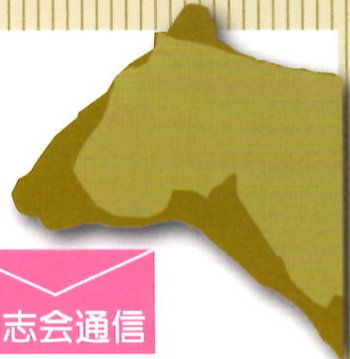
機構構成

室	1
部	5
課	10
係	13
事業所	1介護



正解者には商品券+ミルク王国券をプレゼント!

第40回 ホルスタイン 写真コンテスト特別版



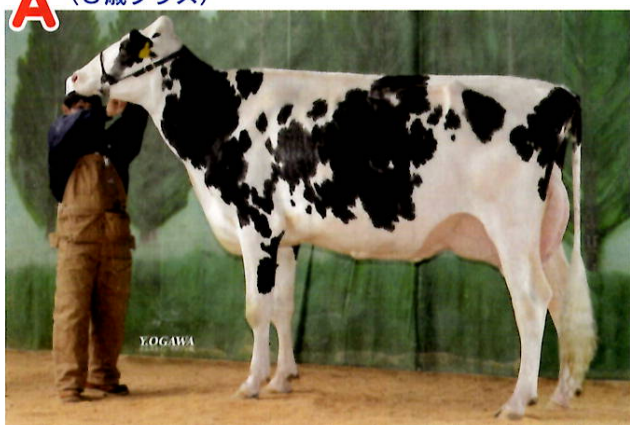
今般の新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、今年度のJA中春別乳牛共進会は残念ながら中止となってしまいました。

そこで、中春別乳牛改良同志会(寺澤佳吾会長)で

は、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト」を今回は、JA中春別乳牛共進会で過去6年の上位入賞牛で行います。投票要項に注意してお早めに応募して下さい。

経産牛

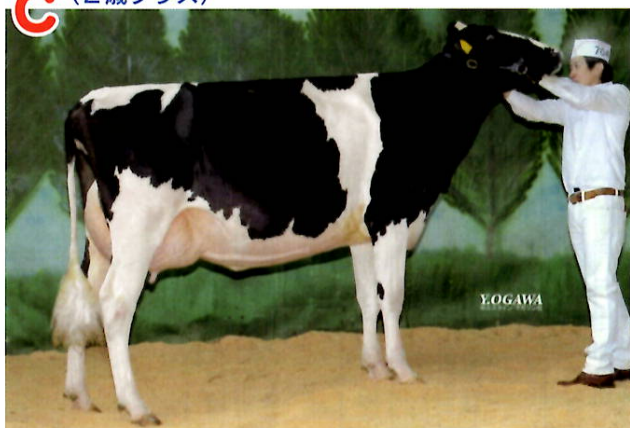
A (3歳クラス)



B (5歳以上クラス)



C (2歳クラス)



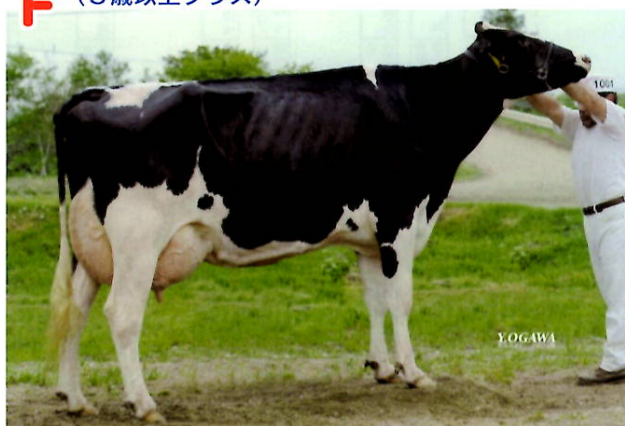
D (4歳クラス)



E (4歳クラス)



F (5歳以上クラス)



予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に経産・未経産各上位3頭の序列付を行い、その牛の該当記号(A～F)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に商品券+ミルク王国券を贈呈致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課（畜産指導係FAX76-3006）または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、7月29日となっておりますので期日までに応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は8月号で発表致します。

未産牛

A (15カ月以上18カ月未満クラス)



B (9カ月以上 12 カ月未満クラス)



C (9カ月以上 12 カ月未満クラス)



D (9カ月以上 12 カ月未満クラス)



E (9カ月以上 12 カ月未満クラス)



F (12 カ月以上 15 カ月未満クラス)





コロナに負けず 活気あふれるパークゴルフ

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)は、新型コロナウイルス感染症の影響で総会が書面議決となり、パークゴルフ大会のみの実施となりました。



6月18日(木)に中春別ヘルスパークにて、会員20人参加のもと開催いたしました。

当日の天気は曇りで少し肌寒く、コースのコンディションも良い状態ではありませんでした。そんなことは皆さん気にせずにパークゴルフのアドバースを受けたり、日々の出来事などを話しながら、とても楽しそうにプレーしました。

今回のルールは3人から4人のグループでコースを回り、競技が終了した人から順にクジを引き、同じ番号同士がペアになり、合計打数を順位として決めました。結果は、寺澤昭一さん・原内律子さんペアが優勝しました。

今回、新型コロナウイルスで大変な状況の中、参加していた皆さんが、誠にありがとうございました。

次回の年金友の会の行事は、8月25日(火)に開催を予定しております。「お楽しみ会」です。会員同士声かけをして、少しでも多くの参加をお待ちしております。

メドウフォックステイルの 侵入を防止しよう

良質粗飼料生産利用対策委員会

メドウフォックステイル(以下、MFTという)は種子により増殖・拡散します。収穫作業によりモアコンなどに付着することで種子を他の圃場へ拡散し、圃場周辺の路肩にも存在していることが多く、チモシーなどの牧草よりも出穂時期が早いことから、路肩から圃場へ徐々に侵入している事例が多々見られます。

侵入を防ぐために圃場から圃場への移動の際にホウキなどで作業機を掃除したり、圃場周辺の路肩に存在が確認された場合は、刈り倒すなど徹底した対策が必要です。写真は路肩にあったMFTを作業機により刈り取った写真です。

収穫作業前にひと手間作業を追加することで圃場への侵入を防ぎ、生産性の高い草地を維持できること

1 番草収穫作業がスタート

7月に入り中春別の1番草収穫作業がスタートしました。酪農家にとって1年間でもっとも忙しい収穫期を迎え、睡眠不足や疲労困ぱいの中での作業が続いていると思いますが、農作業事故には十分に注意し良質粗飼料の確保に努めましょう。



から、地域の皆で雑草防除の意識を高め合い、良質粗飼料の確保に努めましょう。

豊原酪農振興会
美原酪農振興会
中春別酪農振興会



事故にあった！ 故障して動かない！

こちらに
お電話ください！

24時間 365日 事故受付とアドバイス

事故等の場合には
JA 共済
事故受付
センター
0120-258-931

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
JA 共済
サポート
センター
0120-063-931



POWER UP! レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が **無料!**

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が **無料!**

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、30分程度で対応可能なお車の応急対応を行います。



● 事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。**(ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります)**

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担となります。

※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円(税込)を限度にサービス対象範囲とします。

夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービス受付時間は、平日:17時~23時、土日・祝日:8時~23時です。

※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。

※原則として、対応員の出動拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上、離島、山間部など一部の場所は本サービスの対象外となります。

※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日:17時~21時(対応は22時まで)、土日・祝日:9時~21時(対応は22時まで)です。

※対人賠償事故(人身傷害事故を含みます)、対物賠償事故、車両諸費用保障特約のついた車両単独事故が対象となります。

※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査サービス担当者が対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日:17時~0時、土曜:終日、日曜・祝日:0時~17時です。

※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。

※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

■各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。)

※交通事情、気象状況等により、対応員の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。

※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

お問い合わせ先

JA中春別 金融共済課 共済係

TEL0153-76-2314

JA共済

20019990042

新職員の紹介

3カ月間の試用期間を終え、7月1日付けで新規採用になりました職員を紹介いたします。試用期間中に牧場実習も経験しましたので感想も紹介いたします。

酪農の大変さを実感

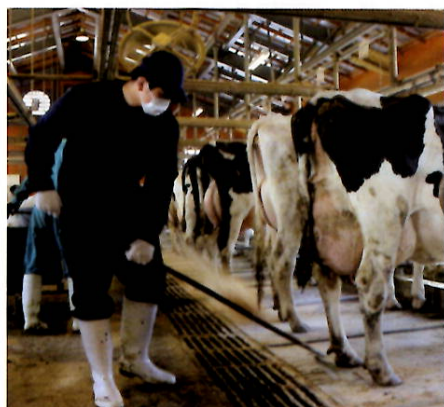


金融共済部金融共済課
貯金係

さとう ともや
佐藤 朋哉

試用期間の3カ月間は、金融共済課での作業をさせていただきまし
た。また、6月8日から6月10日の3
日間は、(株)なかしゅんべつ未来牧場
酪農研修センターで、牧場実習をさ
せていただきました。

1日目は、(株)なかしゅんべつ未来
牧場について資料を使って事業内容
や、施設について詳しく教えていた
だきました。その他にも、除糞や餌寄
せなどの作業を実際にやらせていた



できました。

2日目は、全酪連育成センターの
案内や除糞や餌寄せ、搾乳前の前搾
りなどをやらせていただきました。
前搾りでは、実際に牛に触れての作
業だったので、牛にストレスを与え
ないように、優しく声を掛けながら
作業をしなければならぬというこ
となど、コツが必要で大変でした。他
にも牛の寝るところの掃除、寝糞の
入れ替え作業は力を使いとても大
変でした。

3日目は、2日目と同じく除糞や
餌寄せ前搾りをやらせていただきま
した。私は、酪農家の仕事はほとん
どが手作業だと思っていました。が、
未来牧場では、搾乳や餌寄せ、餌や
りのほとんどを機械でできるとい
うことを聞いて驚きました。

3日間を通して、酪農家の仕事の
大変さを身に染みて感じ、とても勉
強になる良い経験をさせていただく
ことができました。

最後になりましたが3日間の牧場
実習、3カ月間の試用期間で学ん
だことを活かし、少しでも早く組合
員さんの力になれるよう頑張ります
ので、これからもよろしく願いま
す。

貴重な体験ができた牧場実習



課 振興 係
部 振興 係
営 振興 係

かんばやし てっぺい
上林 哲平

3カ月間の試用期間を経て、こ
の度新規採用となりました上林哲
平です。

試用期間中は営農振興課での
業務作業をさせていただき、6月8
日から10日までの3日間にわたり、
(株)なかしゅんべつ未来牧場酪農研修
センターで牧場実習をさせていただ
きました。

1日目は、未来牧場についての資
料を使った説明や施設の案内、除
糞、餌寄せ、搾乳の見学、前搾り、子
牛のベッド掃除をさせていただきました。
ほとんどの作業が牛とのコミュニ
ケーションが大事で、なかなか思っ
たように作業が進みませんでした。

2日目は、除糞、餌寄せ、搾乳の見
学、水槽掃除、全酪連育成センター
の案内をしていただきました。1日
目よりは、牛に慣れ、コミュニケーション
をとれて作業も多少スムーズに
進みました。外の除糞はかなり体力
を使う作業でした。これを定期的に

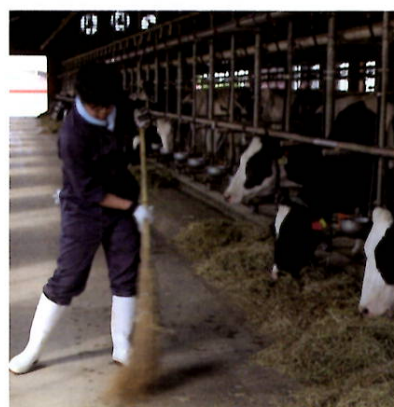
やっている組合員さんは心底すごい
と思いました。

3日目は、午前中までの作業でし
た。2日目の作業に加えて共和育成
センターの草刈をしました。除糞や
餌寄せはかなりテンポ良く行うこ
とができました。

ミルクを使った作業はできませ
んでしたが、貴重な体験を沢山させ
ていただきました。

3日間という短い期間ではありま
したが、普段することのできないよ
うな経験ができました。実際に体験
して酪農の大変さを身に染みて感じ
ました。

最後になりますが、事務所での業
務や牧場実習を通して得た知識を
活かし、1日でも早く組合員さんの
力になれるように一所懸命頑張ら
ますので、これからもよろしく願
います。



多くのことを学んだ牧場実習



課管理係 総務部
管理係
ちば あおい
千葉 彩生

3カ月間の試採用期間では、管理課での業務、また、6月10日から6月12日の3日間にわたって行われた牧場実習で、多くのことを学ばせていただきました。

牧場実習1日目の午前中は、(株)なかしゅんべつ未来牧場酪農研修センターの説明や案内、研修内容について聞き、午後からスタッフや研修生の皆さんに教えてもらいながら、実際に除糞や餌寄せなどを体験させていただきました。今まで牛を間近で見たりお世話をするという経験がなかったため、戸惑う場面もありましたが、スタッフや研修生の皆さんが丁寧に指導してくださり、しっかりと業務に取り組むことができました。自分が想像していた以上に全身を使う作業が多く、改めて組合員さんの大変さを実感するとともに、少しでもサポートしていきたいと思いました。

2日目は、1日の業務の見学と体験することができました。ハッチや水槽の掃除、搾乳しているところを見学させていただきました。また、検診

も見学させていただくことができました。獣医さんが牛のお尻に小さいカメラを入れて妊娠しているかどうか診ていて、実際に赤ちゃんが動いているのをモニターで見ることができ、貴重な体験をすることができました。



3日目は、朝の業務と共和育成センターの見学をさせていただきました。3日間の研修を終えました。短い期間ではありましたが、この研修で組合員さんがどのようなことをしているのかを知ることができました。

最後になりますが、この3カ月間の試採用期間を経て学んだことを、今後の業務に活かして少しでも貢献できよう、一所懸命に取り組んでいきますので今後ともよろしくお願いたします。

初めて牛に触れ、作業に苦戦しながら貴重な酪農を体験



課管理係 金融共済部
貯金係
すずき みよあ
鈴木 雅邑彩

3カ月の試採用期間では金融共済課貯金係を担当させていただきました。最初はお金を入金したり、出金したりするだけだと思っていたのですが、実際にやってみると他にも貯金係としてやることも多く大変でしたが、やりがいを感じました。

6月10日から12日までの3日間、(株)なかしゅんべつ未来牧場酪農研修センターで、酪農研修をさせていただきました。牛と触れ合うことが初めてだったので、酪農研修の前日は不安と緊張で、胸がどきどきしていました。

1日目の午前は、資料を使った説明と施設の案内を友貞専務に教えていただきました。午後からは除糞と餌寄せ、子牛のベットの掃除をしました。初めてやる作業にとっても苦戦しました。除糞をやる際には、牛に声を掛けやりました。牛も理解して避けてくれて、コミュニケーションの大切さを感じました。餌寄せは簡単そうに見えて、腕の力が必要でとても大変でした。古い草は食べなくて、新しい餌を常に欲しがるとのことです。餌を寄せた後のほうきも、実際にやってみると難しく、腕だけの力

だけではなく腰も使って、端から牛の餌場まで、掃くのが大変でした。次は子牛のベット掃除で、子牛が脱走しないよう出口をふさぎながら寝糞を入れ替えたのですが、量の調節が難しかったです。前搾りのやり方を北田センター長に教えていただきました。前搾りをする時には、牛にストレスを与えないように、横から入る時は声を掛けることを心掛けました。キックノンは緩すぎたら、すぐ外れてしまいます。牛によってサイズは異なるのでサイズ調節が大変でした。

2日目は、1日目の作業とくわえて水周りの掃除をしました。水を飲むところに餌が入ってしまったので汚れているので、カップで餌や草を取りブラシでこすりました。

3日目は、朝の作業をした後、共和育成センターの案内をしていただきました。酪農研修センターとの違いや、その中の役割や内容を聞きましました。3日間という短い期間でしたが、すべてが初めてで、普段することのできない体験をすることが出来ました。未来牧場のみなさんお忙しい中、丁寧に教えていただき、また、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

最後になりますが、この3カ月間の事務所での業務や、研修で得た経験や知識を活かし、少しでも組合員さんの力になれるよう一杯頑張りますので、これからもよろしくお願いたします。お客様対応や電話対応など、不慣れなことばかりですが、これからも努力し続けていきたいです。

農業の明日をひらく 北海道農業会議が ラジオ番組を提供中!

イコトイロイロ
STVラジオ
月曜～金曜
朝5時45分から

オハヨ 農家さん

今日のお天気と 病害虫情報

農家の皆さんの毎日のお仕事に役立つお天気と
病害虫発生情報をお届けしています。

番組内でコマーシャル放送中!
農家の皆さんの年金

農業者年金

- 農家の皆さんとご家族を力強くサポート!
- 条件により保険料の国庫補助あり!
- 少子高齢時代に強く安定した年金です!
- 終身年金で80歳までの保証付き!
- 税制の優遇措置があります!
- 保険料の額を選ぶことができます!

詳しくは農業委員会またはJAへ

●【経営科】授業の様子

酪農経営科では普通教科に加え、農業と環境、畜産や食品製造、農業機械、課題研究など、学年毎に農業関連授業を実施しています。



土壌分析の様子

畜産の授業では、草地土壌の分析をおこなうことで、飼料作物がどれくらい肥料を利用したのか、また、どのような肥料をどれくらい施肥すればよいか、といった土壌調査に関する実習をおこないました。また、道東あさひ農協の圃場をお借りして、牧草や雑草の被度割合や植生調査実習もおこなっています。



植生調査の様子

今後は育成牛の管理実習や搾乳、繁殖の知識技術の習得などを継続的に学んでいく予定です。



セミハードチーズ製造

課題研究の時間には、乳製品加工班がセミハードチーズやヨーグルトなどの乳加工品の製造をおこなっています。今年度も放牧が盛んなシーズンとなり、新鮮な放牧草由来の生乳を原料としたチーズ製造が始まりました。今年度はさらに衛生基準を徹底することを目標に、HACCPの衛生基準マニュアルをベースに、班員が項目チェックと記録を常に意識しながら実習に取り組んでいます。また、動物バイオ班は、体外受精技術に係わるプロジェクトに取り組んでおり、卵子採取後の操作技術練習をおこなっています。2年生に3年生がこれまで学んできた知識や技術を伝えながら、手際よく操作ができるように日々研鑽を積んでいます。



受精卵技術に係わる実習

●【専攻科】「酪農科学実験」

6月8日(月)～19日(金)の10日間、「酪農科学実験」が開講されました。この講義は、自家牧草の栄養価や土壌を分析し、土壌管理や飼養管理に必要な知識を習得し、分析値より実際の給与量をシミュレーションする目的として実施しています。また、手指から細菌を採取し、衛生管理を学ぶ実験も実施しています。

【飼料分析実験】

飼料分析に必要な試薬の調製と乾物の測定など、初めて使う実験器具に慣れない様子でしたが、無事に試薬の調製や乾物測定を行うことができました。

また、牧草中の飼料成分のタンパク質などの測定を行い、牧草に含まれる含有量を実際に見ることができ、標準値と比較し良い牧草とは何かと改めて考える良い機会となりました。



粗飼料成分分析の様子

【細菌培養実験】

この実験では、一般細菌の培養方法や細菌数の測定方法など観察の仕方について、実験結果から殺菌・除菌の重要性について学びます。

手洗い前後の細菌数について、自分の手指から採取し、培養しました。手指にどのような細菌がいるのか可視化することで、衛生管理の徹底が改めて重要だと理解できたようです。



細菌数調査の様子

【土壌・堆肥分析実験】

この実験では自家牧場の採草地の塩基成分を検証し、堆肥実験では簡易分析により、堆肥中の肥料成分を測定することができます。

分析した結果を基に自家牧場の土壌について考えるよいきっかけとなったようです。

【学生からの感想】

受講した学生からは、「分析の方法や装置の使い方が理解できた。また、実際に自分の家の堆肥や牧草を使って実験することができて良かった」「飼料・土壌・堆肥分析を実際にやってみると分析にも手間がかかり、酪農が様々な分野との関わりの上で成り立っていることが分かった」などの感想があり、充実した酪農科学実験となりました。



堆肥分析の試料調整の様子

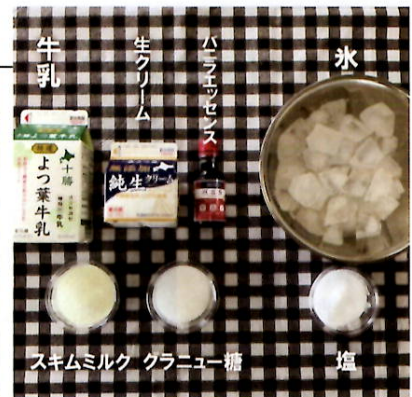
夏にぴったり アイスクリーム

牛乳を使った料理の紹介

中央会根釧支所のフェイスブックで、6月17日(水)にフェイスブックサポーターハマコさんが投稿された、お家で簡単クッキング♪第5弾の振るだけで簡単に作れるアイスクリーム紹介をします。

材料

- ・牛乳 200ml
- ・生クリーム 30ml
- ・グラニュー糖 大さじ2
- ・スキムミルク 30g
- ・バニラエッセンス 少々
- ・氷 塩 50g
- ・ジッパー付きポリ袋(Mサイズ)2枚
- ・タオル 数枚



①鍋にグラニュー糖とスキムミルクを入れて泡立て器で混ぜる。



②①に牛乳と生クリームを入れ泡立て器で混ぜたあと、弱火にかけ木べらでザラザラしなくなるまで混ぜたら火からおろす。



③バニラエッセンスを加え、粗熱が取れたらジッパー付きポリ袋に入れて閉じる。



④別のジッパー付きポリ袋に③といっぱいの氷と塩を入れて閉じる。



⑤タオルで袋を包み、両手で10分位よく振って固まったら完成。



できあがり★

ポイント

生クリームとスキムミルクを使うとクリーミーで、販売されているアイスのようになりますよ。ぜひ、お子さんと一緒にチャレンジしてみてください。

実際に作って
みた感想

スキムミルクが無かったので、マリンームを使って作ってみました。最初は本当にアイスクリームになるのかと思っていましたが、ふわふわな仕上がりと、牛乳の濃厚な甘みでとてもおいしかったです。振るのは少し大変でしたが、ご家族で交代しながら振って、アイスクリーム作りに挑戦してみてください。



JA 中央会 根釧支所
電話 (0154) 22-0910 番
Facebook @JAKonsen
いいね

JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道では、4月中旬より中止しておりました「国産花き販売会」を、6月5日(金)より感染防止対策に十分配慮した上で、札幌市北農ビル(札幌市中央区北4条西1丁目1番地)で再開いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントや式典の中止が相次いでおり、国内の花き需要は大幅に減少しています。そこで、JAグループ北海道では「花を贈って応援!みんなのよい花プロジェクト」と題して、「国産花き販売会」の実施により、国内の花き農家を応援しております。販売会は7月末までの毎週金曜日の開催を予定しております。

JAグループ職員のみならず、花が好きな方や花き農家を応援して下さる方、JAグループ北海道を応援して

下さる方など、たくさんのお客様にお越しいただいております。引き続き、是非ご自宅にお花を飾り、花き農家を応援しています。



JA北海道信連



令和元年度に、JAバンクの食農教育活動として、「親子で学ぼう!あぐりキッチン教室」を全道JAの協力を受け、開催しました。その開催目的は、子どもの農業に対する理解を深め、北海道農業やJA・JAバンクのサポーター層を拡大することにあります。

先ごろ、農協観光の優績JA表彰において、当活動が地域の交流・活性化に寄与したと認められ、地域交流部門の優秀賞を受賞しました。



JA共済連北海道



令和2年度に道内各市町村の消防本部へ寄贈する救急自動車が決定いたしました。救急自動車の寄贈は、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年取り組んでおり、昨年度までに、延べ206台の救急自動車を道内各地の消防本部へ寄贈しております。

今年度は、上川北部消防事務組合消防本部中川消防支署(中川町)、網走地区消防組合消防本部大空消防署(大空町)、大雪消防組合消防本部美瑛消防署(美瑛町)の3か所となります。今後も行政とJAとの連携を図りながら、交通事故の防止と被害者救済への取り組みを強化してまいります。

ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共同で展開している「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、同球団選手と道内生産者が交互にメッセージを送り合う「キャッチボールトーク」動画を制作、同プロジェクトの特設サイトに公開しました。登場しているのは、JA道青協の村田辰徳会長、JA道女性協の青山伸子会長ら生産者と、ファイターズの中島卓也、近藤健介両選手らそれぞれ5人ずつで、新型コロナウイルス対策や農作業、トレーニング内容などについて交互に語り、エールを交換しました。



JA北海道厚生連



新型コロナウイルスの影響で一時中止としておりました人間ドックですが、すべての病院・クリニックにて再開しました。

一部でご利用いただけないオプション検査もございますが、感染対策の徹底を図っておりますので、安心して受診くださいますようお願いいたします。



ホームページはこちらです。どうぞご覧ください。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



耕せう、大地と地産のみらい。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

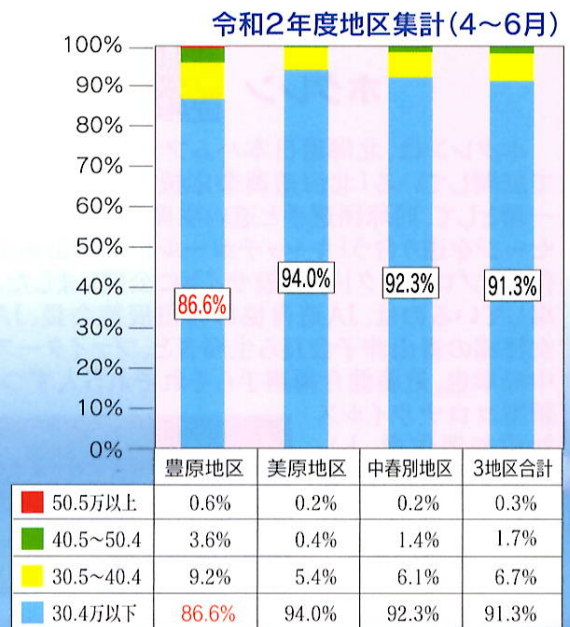
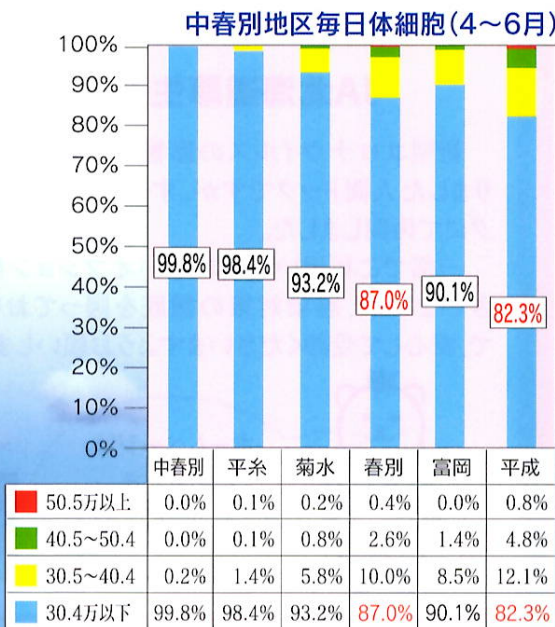
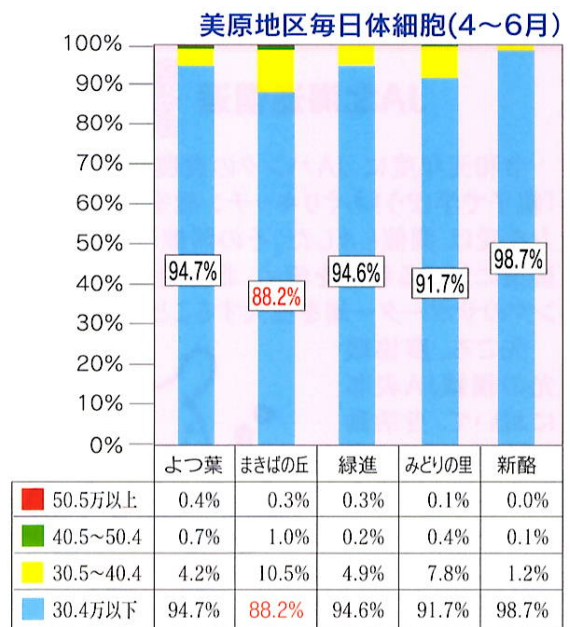
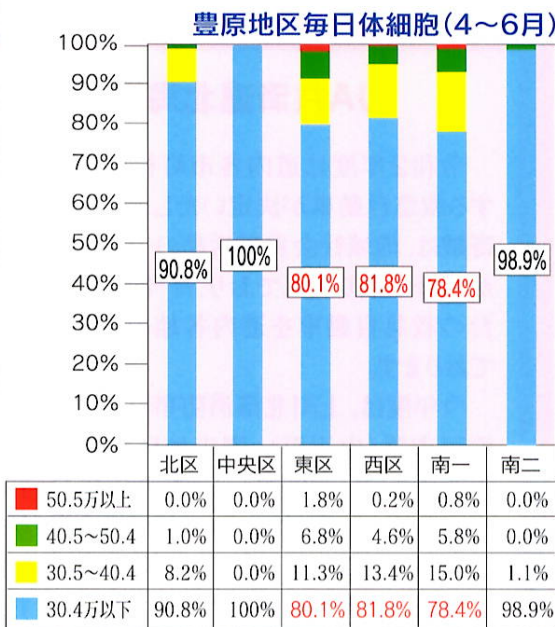


生乳汚染事故を無くそう！

- **抗菌性物質**混入事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- **生菌による汚染**事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入、加水、血乳による汚染**事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異臭、異常風味による汚染**事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

Let's習慣化!! 「連絡・確認・再確認」 生乳汚染事故の徹底防止！

良質生乳生産推進委員会からの標語



令和2年度「たんぼぼクラブ」

「園開放」開催中止のお知らせ

認定こども園 中春別保育園

先月号でお知らせしました「たんぼぼクラブ」「園開放」は、今年度中止することとなりました。

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は解除となりましたが、この先、いつ感染拡大になるかわからない状況でもありますので参加親子、関係者の皆様の健康と安全を考慮し中止とさせていただきます。参加を心待ちにしていた皆様には大変ご迷惑をお掛けしていることを深くお詫び申し上げます。

来年度、新型コロナウイルス感染症が終息しましたら開催を予定していますので是非、遊びに来ていただければ幸いです。ご理解くださいますようお願いいたします。



5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

5月分乳代支払単価

		単 価	支 払 額	前 年 期	差	
乳 脂 肪 分		956.354	37.56	38.38	-0.82	
無 脂 乳 固 形 分		606.511	53.09	54.42	-1.33	
生 産 者 補 給 金		6.7375	6.74	6.42	0.32	
集 送 乳 調 整 金		2.0594	2.06	1.92	0.14	
補 給 金 合 計		8.7969	8.80	8.34	0.46	
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1 2	3.73	3.72	0.01	336,421,043.0kg
		ランク2 0				11,493,838.9kg
		ランク3 -3				166,564.6kg
	体細胞数	ランク1 2				305,941,225.0kg
		ランク2 1				22,234,710.9kg
		ランク3 -2				4,456,635.9kg
合 計			103.18	104.86	-1.68	

項 目	単価(円)/(kg) %	
乳 脂 肪 分 ①	37円56銭	
無 脂 乳 固 形 分 ②	53円09銭	
生 産 者 補 給 金 ③	6円74銭	
集 送 乳 調 整 金 ④	2円06銭	
脂 肪 率	全 道	3.92%
	農 協	4.00%
無 脂 固 形 分 率	全 道	8.75%
	農 協	8.70%
成 分 乳 価	全 道	99円45銭
①+②+③+④=⑤	農 協	99円91銭
乳 質 乳 価 ⑥	全 道	3円73銭
	農 協	3円76銭
乳 代 合 計	全 道	103円18銭
	農 協	103円67銭
⑤+⑥	差 異	0円49銭

第4回 理事会の動き

令和2年6月12日(金)

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 組合員の加入について
3. 令和2年度職員研修の中止について
4. 第22回「宵の市」の中止について
5. 子会社における固定資産の取得について
6. 総体的なリスク量管理および事業量・リスク・資本のバランス確認の報告について
7. JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項について
8. 令和2年度中小酪農等生産基盤維持・強化対策事業の実施について
9. 令和2年度5月末営農関連実績について

議案

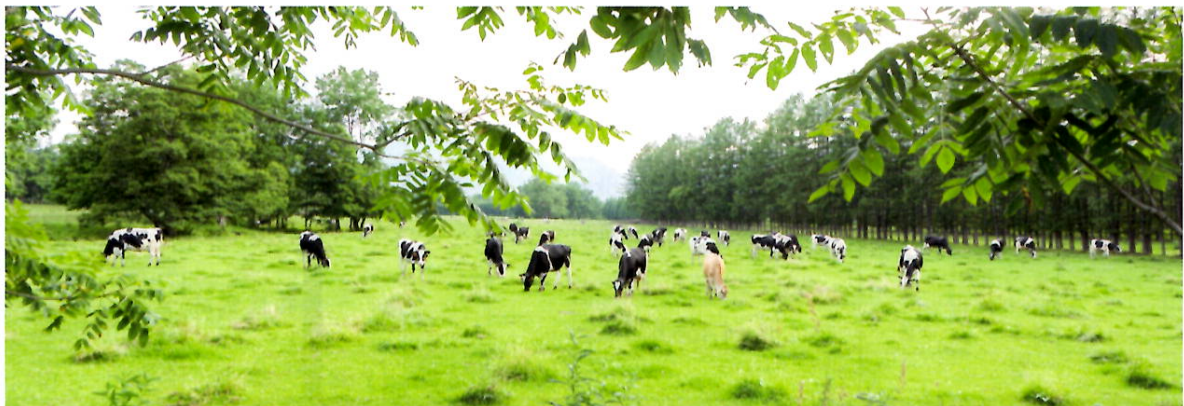
1. 令和2年度理事報酬額の配分並びに支給方法について
2. 令和元年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
3. 令和2年度役員研修の中止について
4. 令和2年度別海町産業部門特別功労者表彰の推薦について
5. 北海道常例検査に伴う指摘事項改善状況等の回答について
6. 令和2営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
7. 畜産経営体生産性向上対策事業(畜産ICT事業)に係る資金の貸付について

第5回 理事会の動き

令和2年6月29日(月)

議案

1. 役員規程の制定について
2. 代表理事組合長の選任について
3. 会長理事の選任について
4. 副組合長理事の選任について
5. 役員構成及び理事の順位について
6. 理事報酬額の配分(案)について



INFORMATION



退職にあたって

井口 捺美

6月30日(火)をもちまして、退職いたしました。

入組して約8年間、人工授精業務に携わって参りました。

組合員皆様の経営を左右する重要な仕事をさせていただいたことに、大変感謝しております。私の力不足でご迷惑をおかけすることが多々ありましたが、皆様のご指導、温かいご声援のおかげで無事に退職日を迎えることができました。

今後は現場で学ばせて頂いた経験を生かして、生産者として活躍していきたいと思っております。大変お世話になりました。

安心・安全な運営のために

J A 共済連では、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、全国約1000カ所のJ A グループ介護事業所に、マスク55万枚を寄贈する取り組みをしています。

6月17日(水) J A 中春別訪問介護ステーションあさひなへ、マスク500枚をJ A 共済連より寄贈していただきました。

いただいたマスク500枚は、安心・安全な訪問介護ステーション運営に活用していきます。



夏期預託牛の受け入れが始まる

(株)なかしゅんべつ未来牧場共和育成センターでは、今年度の夏期預託牛の受け入れを、6月6日(土)から開始し146頭が入牧しました。

個体識別番号、ネック番号を確認した後、周年預託牛192頭とともに分けされた放牧地へ放され、放牧中は牧草の植生を見ながら順次移動し、職員がオートバイで各牧区を巡回しながらパドック内で授精を行い、10月中旬まで広大な牧草地で飼育管理されます。



恵みに感謝、安全を願って

牛魂祭及び農作業安全祈願祭が、6月12日(金)に牛魂之碑前で執り行われました。

これから牧草収穫で忙しい時期となりますが、農作業事故やお体には十分にご留意ください。



個人事業税・第1期の納期限は8月31日(月)です

納期限までに必ず納めましょう。

金融機関、振興局窓口、コンビニエンスストアから納税できます。(コンビニエンスストアからの納税は、バーコードが印字されているものに限ります)

詳しくは、根室振興局税務課までお問い合わせください。

根室振興局税務課 〒087-8588 根室市常盤町3丁目28番地

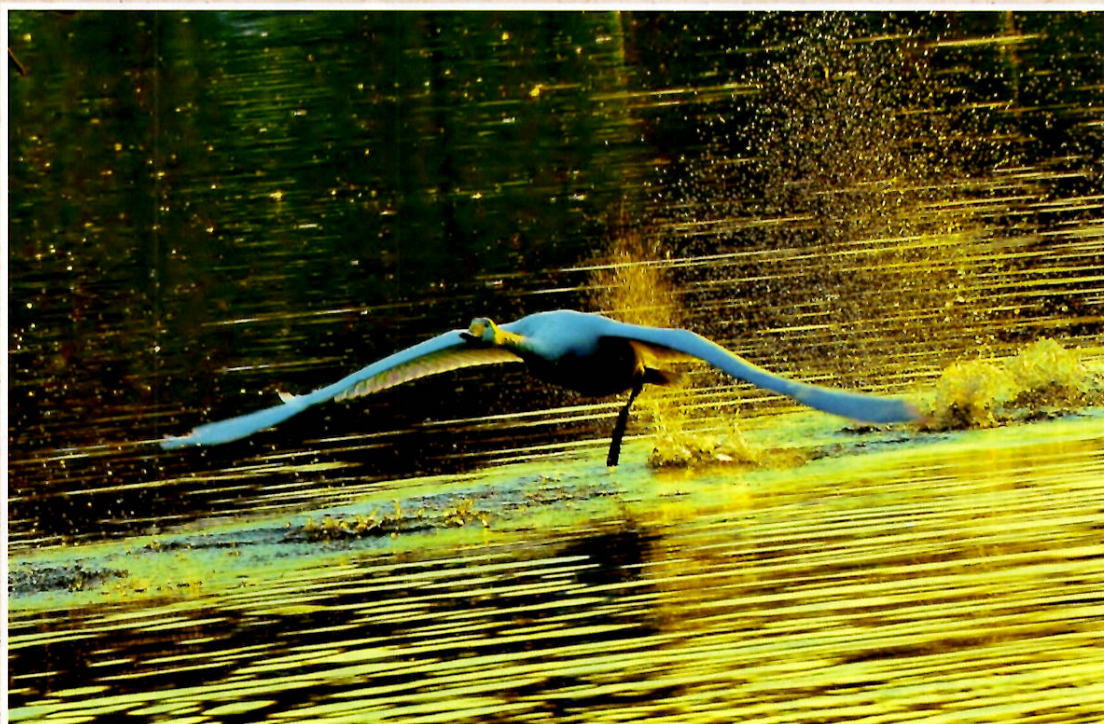
課税に関する事(課税係) 0153-24-5479

納税に関する事(納税係) 0153-24-5466

編集後記

・先日、中春別小学校に通う元気な児童と、話す機会がありました。新型コロナウイルスの影響で臨時休校が続いていましたが、「学校が再開し、楽しい」と、とても嬉しそうに友達のことや、休み時間の話をしてくれました。また、「コロナ太りしたってお母さんに言われるから、走ってマッチョになる」と意気込み。私も、見習って元気に夏を過ごそうと思います。(原内)

組合員の広場



作品名「離陸」南澤三郎

スタンション
人工授精だ
牛不憫(ふびん)
@...自由も恋も奪ったの
ダレだ!

TPP
牛の値段が
PPP
@...コロナの
追い討ちだあ

ロボットだ
ICTだと
牛を飼う
@...愛を忘れないで

Uターン
跡継ぎ支えて
邪魔になり
@...牛飼いと企業の
ギャップかあ

新型コロナ
俺のクミカン
発熱し
@...アピガンが欲しい!

オレの牛飼いの川柳 @...spice
賣場利國



今月号の組合員の広場は「写友 北風」さんの写真と賣場利國さんの川柳を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。

令和2年度 中春別農協・各組織役員名簿

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
理事会	会長	西川寛稔	中春別農協 年金友の会	副会長	平間勉
	代表理事	望月英彦		副会長	鈴木木
監事会	副会長	原大登	中春別乳牛 改良同志会	副会長	寺澤佳
	専務理事	伊藤藤		副会長	久保光
総務経済委員会	代表監事	片野橋	中春別和牛 研究会	副会長	高野晃
	委員	遠藤大		副会長	高山晃
営農生産委員会	委員	伊藤英彦	農事組合長会	副会長	野寺勝
	委員	望月武義		副会長	池田隆
労務委員会	委員	原大登	中春別酪農 対策協議会	副会長	佐藤直
	委員	遠藤浩		副会長	加藤直
中春別農協青年部	部長	山上浩	中春別乳検組合	副会長	杉野直
	副部長	浮川英一		副会長	谷本勝
中春別農協女性部	部長	伊藤紫	良質生乳生産 推進委員会	副会長	本行寛
	副部長	紫所平		副会長	沼原哲
中春別農協年金友の会	部長	片相南	良質粗飼料生産 利用対策委員会	副会長	藤本貴
	副部長	山原小		副会長	田田正
	部長	中山大		副会長	望原正
	部長	田岡晃		副会長	伊山一
	部長	相久保		副会長	伊山一
	部長	中遠山		副会長	望大
	部長	青内南		副会長	牧山
	部長	山原久		副会長	芳山
	部長	上上木		副会長	浮長
	部長	齋藤高		副会長	村久
	部長	尾形		副会長	青原
	部長			副会長	木原
	部長			副会長	沼内
	部長			副会長	藤原
	部長			副会長	山崎
	部長			副会長	伊山
	部長			副会長	山

第40回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

未經産牛		
1位	2位	3位

経産牛		
1位	2位	3位

第40回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

未經産牛		
1位	2位	3位

経産牛		
1位	2位	3位

第40回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

未經産牛		
1位	2位	3位

経産牛		
1位	2位	3位